

令和2(2020)年度以降入学者適用

アドミッションポリシー

日本赤十字豊田看護大学 看護学部は次のような入学者を求めます。

1. 本学の建学の精神に共感できる人
2. 日本語力、英語力、科学的思考力を備えている人
3. 人間や社会に対して広く関心がある人
4. 社会常識を備え責任を持って行動できる人
5. 看護を学ぶ意志を持つ人

カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施に関する方針）

1. 本学では、教育理念と教育目的に基づくディプロマポリシーを達成するために、カリキュラムは、次のように編成しています。すなわち、「教養科目」、「専門基礎科目」では、本学の建学の精神である「赤十字」の基本原則と活動について学ぶとともに、「人間」と「環境」との相互作用において生じる「健康」の様々な段階について学びます。さらに、「専門科目」では、基盤育成看護学、ケア創生看護学、地域共生看護学、看護の技と知の統合の各分野から「看護」について学ぶことができるよう各科目を位置づけています。
2. 本学の建学の精神である赤十字に関する科目は教養科目として位置づけ、赤十字の理念と活動を理解したうえで、主体的に探求する「赤十字総合セミナー」と、赤十字の理念を行動に移す「ボランティア活動論」を設置しています。
3. コミュニケーション技術や生きる力への思いやりの態度を身につけ、人の生命や生きる営みを支える能力を育成することを目指したコミュニケーションツールである語学科目として英語と本学の地域性を活かしたスペイン語、ポルトガル語を設置し、特に英語は、「国際救援と英語」等、4年間、継続して学習できる機会を設け、各学年に配置しています。
4. 看護の対象者との円滑なコミュニケーションを図るために、「コミュニケーション論」で基本を学び、そのうえで専門的なコミュニケーション技術を身につけることを目指して精神看護学領域の各科目を設置しています。
5. 看護においては、一人の人間を統合的に理解することが重要です。そこで、人間のライフサイクルから変化を捉える「人間発達論」と「家族論」、遺伝やスポーツ、生活を営む社会や環境を知り、健康への影響を理解する「遺伝と健康」、「環境問題と健康」等、人間の身体的側面について理解する科目として、「形態機能学」、「病理学」、「感染制御論」等、精神的側面について理解する科目として「臨床心理学」を設置しています。さらに、各看護学専門領域に病態・治療論を配置し、病態・治療と看護のつながりを強化していることも特徴です。
6. 看護のアセスメントの基盤となる検査・治療について理解する「臨床検査概論」、「薬理学」、「人間工学」、「リハビリテーション論」、さらに地域における看護を展開するために必要不可欠な「疫学」、「公衆衛生学」等も設置しています。
7. 看護の専門性を追求するために基盤となる科目としては、「看護学概論」等と各看護学領域の援助論

を設置し、「基礎看護技術」をはじめとする各看護学領域における技術演習、実習、「技術特別演習」、「統合実習」で、看護の技と知の統合を目指します。また、保健・医療・福祉の場で看護の専門性を追求するための科目として、「看護管理学」等を設置し、地域社会における看護の役割を学ぶ科目にも力を入れ、「在宅看護学概論」、「公衆衛生看護学概論」等を設置しています。

8. 赤十字の看護大学卒業生としての自負を持ち、看護師としてのキャリアイメージを強化するための「看護プロフェッショナルセミナー」やプロフェッショナリズムの育成を目指した「看護キャリア開発論」、さら生涯にわたって学び続けるための基礎力となる研究力を身につける科目として「卒業研究」も設置しています。
9. 本学の教育課程の特長である国内外の救護の場における看護の役割を認識することと災害関連死の予防、防災教育を実践するための科目として、「災害看護学概論」、「国際救援看護論」等を設置しています。

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針：卒業時に期待される能力）

本学の教育理念、教育目的、教育目標を実現することを意図したカリキュラムを編成し、所定の単位を修めた学生は卒業が認定され、学士（看護学）の学位が授与される。卒業までに以下に挙げる能力を身につけていることが求められる。

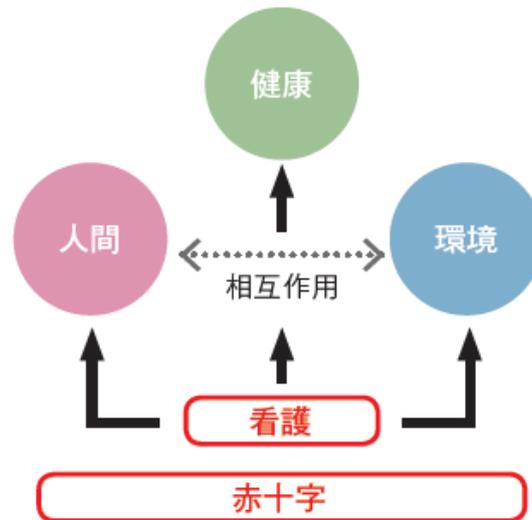
1. 赤十字の基本原則を理解し、人間としての尊厳と権利を尊重・擁護するために専門的立場から行動することができる。
2. コミュニケーション技術や生きる力への思いやりの態度を身につけ、人の生命や生きる営みを支えることができる。
3. 一人の人間を身体的・精神的・社会的な側面から、統合的に理解することができる。
4. 事実を把握したうえで、専門的知識、先行研究、経験等を活用し、状況について多角的に分析・評価を行い、問題を創造的に解決することができる。
5. 健康問題に対する人間の反応を把握し、個別性を尊重した看護を的確かつ安全に実施することができる。
6. 地域社会における保健・医療・福祉・救護の場で看護が担うべき役割を認識し、他の専門職と協働して看護ケアを実施することができる。
7. 自己啓発力・自己学習力をもって、生涯にわたって学び続けることができる。
8. 国際社会における健康ニーズを把握するために異文化の理解に努め、グローバルな視野に立って、専門職としての看護の役割を認識することができる。
9. 災害時の救護、災害関連死の予防、防災教育等を実践するための基礎的能力を養い、被災者の生活に関する健康ニーズを理解することができる。

5つの主要概念

カリキュラム編成の基本となる主要概念は、「人間」「環境」「健康」「看護」「赤十字」です。

看護の対象である人間は、環境と常に相互作用をしながら生活を営んでおり、自らの健康を保持・増進、回復するためにさまざまな活動を行っています。「看護」「赤十字」はその人にとって望ましい健康状態を生み出すように、人間と環境に働きかける関係にあります。

カリキュラムは、この主要概念にそって構成されています。



人間

人間は、生物体であると同時に、社会の中で独自の価値観を持ち行動する生活体です。人間を生物的・心理的・霊的・社会的側面から統合的に学びます。

環境

環境として、ここでは人間をとりまき健康に影響を及ぼす外部環境をとりあげます。自然環境、物理・化学的環境、人的環境、社会・文化的環境について、健康の側面から学びます。

健康

健康とは、疾病や障害の有無に関わらず、自分の持つ力を発揮して身体の内部環境の動的平衡を維持し、心豊かに生活できる状態にあることです。健康を身体的・精神的・社会的側面から統合的に学びます。

看護

看護は、人間と環境に働きかけ、人々の健康を実現するように働きかける活動です。この活動に必要な専門的知識・技術および態度について学びます。

赤十字

赤十字は、いかなる状況下でも人間のいのちと健康、尊厳を守るという使命を持ち国際的に活動する組織です。赤十字の理念と活動の実践方法について学びます。

カリキュラム

カリキュラムは5つの主要概念で構成されています。

看護の対象である「人間」は、「環境」と相互に作用しながら、自らの「健康」を保持・増進、回復するためにさまざまな活動を行っています。

「看護」と「赤十字」は、その人にとって望ましい健康状態を生み出せるよう、人間と環境に働きかける関係にあります。

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		看護の基盤となる人間について多様な側面から学ぶ		看護の現象を科学的に捉え、実践力を身につける		保健・医療・福祉の場における看護の役割を学ぶ		自ら主体的に学び、基礎的な研究能力を身につける	
		セメスター①	セメスター②	セメスター③	セメスター④	セメスター⑤	セメスター⑥	セメスター⑦	セメスター⑧
教養科目	人間	人間発達論 法学・日本国憲法 英語Ⅰ	哲学 教育学 家族論 音楽論 英語Ⅱ スペイン語 ポルトガル語	生命倫理 英語Ⅱ	英語Ⅳ	英語Ⅴ			上級英語
	環境	社会学 環境問題と健康 文化人類学 情報リテラシー	日本文化論						
	健康	スポーツレクリエーション実技	スポーツ健康科学				遺伝と健康		
	赤十字	看護プロフェッショナルセミナー 赤十字原論	ボランティア活動論 赤十字と活動 赤十字総合セミナー						
専門基礎科目	人間	形態機能学Ⅰ 免疫学 栄養代謝学 形態機能学Ⅲ	形態機能学Ⅱ 人工工学						
	環境		公衆衛生学 社会福祉学 保健情報演習※	保健医療福祉行政論Ⅰ※ 保健統計※	保健医療福祉行政論Ⅱ※	疫学Ⅰ※ 疫学Ⅱ※			
	健康	微生物学	病理学 臨床心理学	薬理学 感染制御論 臨床検査概論 リハビリテーション論					
専門科目	基礎看護学	看護学概論 コミュニケーション 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学実習	基礎看護技術Ⅱ	看護過程Ⅰ 基礎看護技術Ⅲ	看護過程Ⅱ ヘルスアセスメント基礎 基礎看護学実習Ⅱ	看護倫理学			
	看護管理学			看護管理学Ⅰ		看護管理学Ⅱ	医療安全論	看護管理学実習	看護キャリア開発論
	成人看護学		成人急性期病態・治療論Ⅰ	成人急性期病態・治療論Ⅱ 成人慢性期病態・治療論Ⅰ 成人急性期看護学概論 成人慢性期看護学概論	成人慢性期病態・治療論Ⅱ 成人周術期看護論 成人慢性期援助論Ⅰ 成人看護学技術演習Ⅰ	クリティカルケア論 成人慢性期援助論Ⅱ 成人看護学技術演習Ⅱ	成人看護学 基礎実習 成人急性期看護学実習 成人慢性期看護学実習		
	母性看護学				母性病態・治療論 母性看護学概論	母性看護学援助論 母性看護学技術演習	母性看護学実習		
	小児看護学		小児病態・治療論	小児看護学概論	小児看護学援助論 小児看護学技術演習	小児看護学実習			
	老年看護学		老年病態・治療論	老年看護学概論	老年看護学援助論 老年看護学技術演習	老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ			
	在宅看護学			在宅看護学概論	在宅看護学援助論 在宅看護学技術演習	在宅看護学実習			
	精神看護学			精神病態・治療論 精神看護学概論	精神看護学援助論 精神看護学技術演習	精神看護学実習			
	災害看護学			災害看護学概論 国際救護看護論 国際救護と英語	災害看護学援助論 国際救護看護論演習	災害看護学技術演習Ⅰ 国際救護看護論実習		災害看護学技術演習Ⅱ	
	公衆衛生看護学			公衆衛生看護学概論Ⅰ※	公衆衛生看護学概論Ⅱ※ 健康教育方法論Ⅰ※ 健康教育方法論Ⅱ※ 産業看護論※ 学校看護論※ 地域診断論※	保健指導方法論※	家族生活支援論※ 地区活動論※	公衆衛生看護管理※ 公衆衛生看護学実習※	
	看護の技と知の統合					ヘルスアセスメント 応用	心のリハビリテーション 卒業研究Ⅰ	技術特別演習 統合実習 卒業研究Ⅱ	

黒字：必須科目、青字：選択科目、※印：保健師国家試験受験資格取得を目指す人の必須科目

臨地実習

看護を必要とする人々と向き合いながら、実践力を身につけます。

看護の学習には臨地実習が不可欠。授業で学んだ知識や技術を療養や生活の場で使いながら身につけていきます。

実習の場では、教科書には載っていないような問題にも遭遇します。

そうした問題と向き合うことで、看護の対象が個性をもった人間であることが実感できるに違いありません。

授業科目の名称	講義等の内容	実習施設
基礎看護学実習Ⅰ	病院で療養生活を送る対象の日常生活を支援する看護援助の見学や一部を実施する体験を通して、対象にとってより良い看護援助について考察できることを目的とする。学生が体験した内容を振り返り、看護師の行動の目的・意義を捉えられるように助言・指導する。	●実習施設 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 刈谷豊田総合病院 豊田厚生病院
基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護学で学んだ内容を活用し、対象を一人の人間として理解するとともに、看護過程を展開するための基礎的能力を養うことを目的とする。学生がはじめて実際の患者を受け持つ過程において、患者情報の捉え方やその情報の分析方法、看護診断に基づいた看護計画の立案および計画に基づく安全で安楽な援助の実践とその評価方法について教授する。	●実習施設 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 刈谷豊田総合病院 豊田厚生病院 名古屋掖済会病院
看護管理学実習	医療施設、地域等の看護サービスの場で、指導者へのシャドウイングを通して、医療・保健・福祉チームの一員としての看護の専門性や役割について理解する力を養う。また、看護管理者や組織横断的活動を行っている専従看護師と行動を共にすることで、看護管理の視点や活動を理解する力を養うことを目指す。	●実習施設 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 愛知県がんセンター
成人看護学基盤実習	急性期および慢性病の治療の場で行われる看護実践を知り、手術室・ICU 及び緩和ケア・化学療法・透析室等における看護の機能と役割を理解できることを目指す。	●実習施設 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 豊田厚生病院

<p>成人急性期看護学実習</p>	<p>成人期にある人の健康問題を理解し、患者及びその家族に対して健康のさまざまな段階に応じた看護を実践するために必要な能力を育成する。急性の経過をとる成人患者の健康問題を把握し、その問題解決を図るために、患者及び家族に必要な看護を実践できる能力を育成する。</p>	<p>●実習施設 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院</p>
<p>成人慢性期看護学実習</p>	<p>成人期にある人の健康問題を理解し、患者およびその家族に対して健康の各段階に応じた看護を実践するために必要な能力を育成する。慢性病をもつ患者の健康問題を把握し、その問題解決を図るために、患者および家族に必要な看護を実践できる能力を育成する。</p>	<p>●実習施設 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 豊田厚生病院</p>
<p>老年看護学実習 I</p>	<p>健康障害を有する高齢者とその家族を理解し、状態に応じて、高齢者が自立的にその人らしい生活を送ることを支える看護を実践するための基礎的能力を養うことを目指す。そのために、病院または老人保健施設において、高齢者への看護過程の展開を行う。</p>	<p>●実習施設 刈谷豊田総合病院東分院 みよし市民病院 老人保健施設ハビリスーツ木 並木病院 介護老人保健施設 メディオ平針 刈谷豊田総合病院高浜分院</p>
<p>老年看護学実習 II</p>	<p>介護老人福祉施設における高齢者と家族への支援ならびに入所高齢者の生活状況を理解し、介護施設における看護の特徴と方法を教授する。</p>	<p>●実習施設 特別養護老人ホーム 第2とよた苑 特別養護老人ホーム みなみ福寿園 特別養護老人ホーム ひまわりの街 特別養護老人ホーム 日進ホーム 地域密着型複合施設 ひまわり邸 特別養護老人ホーム 安立荘</p>
<p>在宅看護学実習</p>	<p>対象者（在宅療養者とその家族）の生活状況および健康状態を理解し、対象者の看護援助に必要な基礎的能力を教授する。また、在宅看護における保健医療福祉制度の活用と連携のあり方について教授する。</p>	<p>●実習施設 トヨタ記念病院 愛知県内の訪問看護ステーション 等</p>
<p>母性看護学実習</p>	<p>妊婦・産婦・褥婦・新生児の健康の保持・増進と回復への援助を、その家族との関連を含めて実践するための基礎的能力を養う。また、母子保健活動の実際を通して、女性の生涯にわたる健康支援のあり方について検討する能力を養うことを目指す。</p>	<p>●実習施設 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 刈谷豊田総合病院 トヨタ記念病院 愛知県内の助産所</p>

小児看護学実習	小児期にある対象と家族について、関わりをとおして理解し、成長・発達段階、健康段階に応じた個別性のある看護を行うための基礎的能力を養うことを目指す。	<p>●実習施設</p> <p>日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 刈谷豊田総合病院 豊田市立こども園</p>
精神看護学実習	精神に障がいをもつ人とその家族にとっての病の体験の意味を理解した上で、治療的關係を形成し、その過程を考察することで自己洞察を深める。また、対象者の精神的健康課題を把握し、その課題への対応を意図した個別的な看護を実践する基礎的能力を養うことを目指す。	<p>●実習施設</p> <p>豊田西病院 刈谷病院 共和病院 桶狭間病院藤田こころケアセンター</p>
公衆衛生看護学実習	コミュニティの特性および健康課題を構造的に捉え、健康課題を解決・改善するための活動方法を実践的に学習する。特に保健活動の基本的である、PDCA サイクルの展開過程、個別課題から地域課題への視点、関係者との連携・協働、地域のケアシステムの構築について、実習施設における実践活動を通して教授する。	<p>●実習施設</p> <p>愛知県内の保健所 市町村保健センター 等</p>
統合実習	本学における看護学実習の集大成として、学生が専攻を希望する看護専門領域において、対象を全人的に理解することをとおして健康問題を捉え、これまで学修した知識・技術を統合して看護ケアを行い、看護の独自性・専門性について理解を深める。	<p>●実習施設</p> <p>医療保健福祉施設 等</p>